

2019年4月9日(火)東京・平河町に誕生

グローバルスタンダードな和のおもてなしをコンセプトに、 「ザ・キタノホテル東京」 GRAND OPEN !

北野合同建物株式会社(代表取締役・小池佳子)は、1973年に日系初のホテルとしてニューヨークに開業したザ・キタノホテル ニューヨークと双璧をなす、日本の新しいエレガンスをご提供する「ザ・キタノホテル東京」を東京・平河町に 2019年4月9日(火) オープンします。



【“和敬清寂”の精神が息づく、美しい空間】

かつてここには多くの政財界や文化人に愛されたアパートメントホテル「北野アームス」がありました。日本建築の第一人者である今里隆氏監修のもと竹中工務店の設計施工で完成しました。建物の中心に孟宗竹のアトリウムを配置した斬新なデザインに和のゆかしさを感じていただけることでしょう。2階には茶室を兼ねた「ティーラウンジ」があり、現代風書院の床の間にはつねに季節を意識した書画が掛けられ、「和敬清寂」の設えを堪能していただけます。



【日本の四季を表現した客室で、暮らすように滞在する】

お客様に心から寛いでいただくためのさまざまな工夫がこらされています。全室が温かみのあるインテリアを基調としており、一層の利便性・快適性を考慮してミニバーと一体になった広いカウンター、バスルームには深めのバスhtubとレインシャワーが設置されています。レジデンシャルタイプのスイートルームにはキッチンや洗濯機もご用意しました。贅沢なホテル気分にも日常性を感じられる、まさに「暮らすような滞在」をお楽しみいただける全 72 室です。長期滞在型ホテル「北野アームス」の名残として居住性を取り入れた所以です。



【季節を感じ、心から寛げる食事の時間を】

カタルーニャ料理で世界的に有名な「レストラン サンパウ」。旬の食材を縦横に使いこなす江戸前鮓「蔵六雄山」。ルーフトップのクラブラウンジ「キタノアームスラウンジ」のテラスでは季節の花で四季を味わい、また、オールデイダイニングを兼ねた 2 階の「ティーラウンジ」では折々の書画によって季節の移ろいを感じていただけることも魅力のひとつです。そのように四季を愛でる美意識をもって心からのおもてなしを提供します。

◆サンパウ

合計で七つの星を持ち、世界中の美食家を虜にしてきたカルメ・ルスカイエーダシェフ。当ホテルの二ツ星レストランでは、スペイン・カタルーニャの伝統をベースに、彼女の自由な発想で生まれる繊細で芸術的な料理と秀逸なワインをご用意。自然と文化が豊かなカタルーニャの料理を、日本の四季の素材を用いて再現してくれます。

◆蔵六雄山

六本木の老舗「蔵六鮓」からの暖簾分け。旬のネタ、赤酢米による鮓と趣向を凝らした肴の数々。月替わりで用意される日本酒は日本全国から厳選されたものをこだわりの器で提供します。

◆ティーサロン

立礼式の「茶室」は、和の精神でお客様をもてなすことをモットーとするザ・キタノホテル東京の象徴とも言える空間です。オールデイダイニングであり、ゆったりとお茶を楽しんでいただけるサロンでもあります。季節に合わせて変化する花や掛け軸などの設えもお楽しみください。

◆キタノアームスラウンジ

テラス席からは東京の夜景が一望でき、しだれ桜や椿など四季折々に咲く花が彩りを添えます。ルーフトップバーでは、カクテルのほか各種ドリンク、さらには「レストラン サンパウ」が提供するピンチョスも楽しめます。かつて政財界、文化人が集うサロンだった「北野アームス」への思いを込めてこの名をつけました。

【ウェルネスという考え方を貫くサービス】

ザ・キタノホテル東京は、ウェルネスという考え方に基づいたさまざまなサービスを提供します。ファシリティには「ウチイケ鍼灸整体院」、プライベートトレーニングジム「BODY DIRECTOR」、美容室「髪匠 Anteena」を迎え、客室にはカスタムメイドのマットレスやデュベ、枕、肌触りにこだわった今治タオルなどをご用意。快適な滞在のご提供にとどまらず、健康の向上にも役立てていただきたいとの思いを込めました。

◆ウチイケ鍼灸整体院

鍼灸に微弱電流やカイロプラクティックを取り入れた治療や、人が本来持つ美しさを取り戻すための美容メニューも豊富に取り揃える鍼灸整体院。国内外のVIPを顧客に持ち、プロスポーツ選手も絶大な信頼を寄せて通院しています。

◆BODY DIRECTOR

「トレーニング」「トリートメント」「フードコントロール」の3方向からアプローチをし、結果に繋げる、独自のメソッドによる健康な身体づくりをサポートしてくれるプライベートトレーニングジムです。

◆髪匠 Anteena

開業46年の老舗美容室が六本木からザ・キタノホテル東京開業に伴い移転。安全で長期使用できる薬剤で髪本来の美しさを引き出し、独自に開発した頭皮に優しい増毛技術を採用するなど、安心と安全へのこだわりを持った美容室です。

【平河町に建つホテルとして、ビジネスをサポートする空間】

3つのファンクショナルームを持つ会議室は、政治・経済の中枢を担うこの地に建つホテルにふさわしい空間。専用のクロークと化粧室を備え、遮音性の高い構造となっており、会議やイベントなど用途に合わせて快適にご利用いただけます。

◆会議室

3室(47㎡、36㎡、36㎡)※2/3、全スパンでの使用、ケータリングも可 ※全室にクローク、化粧室を完備

【高い快適性を生み出す、優れたストラクチャー】

ラグジュアリーホテルの経験豊富な竹中工務店による建築は、実に緻密に、隅々まで考え抜かれたストラクチャーによって、快適性を実現しています。

① ストレスのない動線計画

・客室に面して吹き抜けアトリウムを配置、客室も回遊性の高いレイアウトにすることでストレスのない動線を実現

② 光、空気など、自然エネルギーの利用

・地の利を生かした三方に開かれた建物配置による、眺望のよい客室
・客室の窓は全室開放可能で、直接外気を取り入れることも可能
・孟宗竹のアトリウムやさくらのルーフトップテラスなど、都心にいながら自然を身近に感じられる構造
・吹き抜けのアトリウムを利用した排気、排熱によって快適な環境を提供

③ 安心・安全の技術

・客室の界壁に平鋼プレースを内蔵したPCa版を採用するなどといった技術により、壁の遮音性能を高めながら地震力を吸収し、揺れや音を抑制
・高速道路や地下鉄など都心ならではの振動対策として、建物下部および側面全体には防振材を挿入
・客室内の家具や内装材には自然素材とF☆☆☆☆(Fフォースター:ホルムアルデヒド放散等級の最上位企画)にこだわり、化学物質の発生を可能な限り抑制
・最新の制御システムにより、快適な移動を実現するフジテック製のエレベーターを採用

●プロフィール：施工建築 今里 隆
(杉山隆建築設計事務所・建築家)

1928 年東京都出身。東京美術学校
(現東京藝術大学)建築科卒業。吉田
五十八研究室に勤務後、杉山隆建築
設計事務所創設。主な作品は国技館
(共同設計)、池上本門寺大客殿・御廟
所、平山郁夫美術館など。(公財)五井
平和財団理事、(公財)国際茶道文化
協会評議員、元東京藝術大学客員教
授。

「もう一度、訪れてみたい」そう思ってもらえるホテルに

2015 年、長野市戸隠にオープンした北野美術館戸隠館の建築監修に携わり、その
流れで今回のお仕事をお引き受けしました。良いホテルとは、宿泊して家に帰ると癒
された気分になり、「もう一度、訪れてみたい」と思わせるもの。そして、その土地の特
色を活かしたデザインが大切と考え、大都会に建つ「ザ・キタノホテル 東京」は近代
的なデザインの中にも日本古来の雅さを表現しました。日本の伝統色が安らぎを与え
てくれる和の雰囲気、新しい方式を取り入れた立礼席のサロンなど、滞在するお客様
が日本建築の良さに触れつつ心が癒される空間になることを願っています。

《日系初のホテルとして、ニューヨークに開業》

1964 年のニューヨーク万博にて、北野建設の社長を務めていた北野次登が日本政府からの依頼を受けて、
日本パビリオンの設計を請け負いました。このプロジェクトのためにニューヨークに長く滞在したホテルでは、心地
よいと思えるサービスに出会えず、また、朝から日本食が食べられたらどんなによいだろうと思ったことから、将
来ニューヨークにホテルを建てようと思いを固め、日米文化の架け橋として日本の“おもてなし”を提供できるホテルを
作りたい、という思いが結実したのは 1973 年 7 月のことでした。

日系初のホテルとして開業したホテル キタノは、当時の市長、ジョン・リンゼイから“ニューヨークへの鍵”と感謝
状を授与され、日米の新時代を築く架け橋となりました。1995 年には名称をザ・キタノと改めてリニューアルオ
ープン。2013 年には開業 40 周年を迎え、当時のマイケル・ブルームバーグ市長より改めて歓迎の表彰を授
与されます。北野次登が思い描いた日本のおもてなしの心を受け継ぎ、今もなお世界中のお客様をお迎えし
ています。<https://www.kitano.com/>

＜本リリースに関するお問合せ＞

◎ザ・キタノホテル東京 PR 担当：阿部・山岸
TEL 03-3265-2371 FAX 03-3265-5007
E-mail：info@kitanohotel.co.jp

＜取材に関するお問い合わせ＞

森野
TEL 080-1053-9722
E-mail：modernrose@outlook.jp